

⇒ 大学において学修するための基礎知識 I ~VIII

I. 「履修する」ということ ー所属する学科の課程を学習し修めることー

各学科の課程には、必修科目(所属する学科で必ず履修しなければならない科目)とそれ以外の科目「選択科目」があります。このうち「選択科目」については、皆さんの学習目的に沿って、自分自身で科目を選びます。所属学科の中心的な科目である必修科目を学習するとともに、その周辺科目である選択科目を自分で選ぶことで、自分なりの学修体系をつくりあげていくことになります。なお、履修するためには、大学が定める期間内に「**履修登録**」する必要がありますので、必ず覚えておいてください。

皆さんは、近い将来、就職活動など、自分の進路を決定しなければならない時期がやってきます。自分の可能性を大きく広げるために、基礎となる大学での学習に、主体的に取り組んでください。

II. 本学の学期はセメスター制

セメスター制とは、1年間を前学期(15週間)と後学期(15週間)の2学期に分け、学期ごとに、配当科目が定められ、授業・試験・成績評価を行う学期制度です。各科目は、半年間で完結します(※一部科目を除く)。

卒業までには、2学期×4年=8学期あります。卒業までの4年間の履修計画を立て、そして、年度ごとに修正しながら、各学期の配当科目を学習していくことが大事です。

III. 大学の授業科目は単位制 ー学習時間と単位の関係ー

各科目の単位数は、文部科学省が定める大学設置基準に基づき、教室における学習時間数と教室以外(授業以外)での学習時間数(予習・復習の時間)の合計で決まります。本学のほとんどの科目が2単位で、2単位を修得するためには、

$$\rightarrow \text{授業科目 } 1\text{コマ} = 2\text{時間}/週 (\text{本学では } 90\text{分}) \times 15\text{週間}$$

$$\text{修得のための予習復習時間} = 4\text{時間}/週 \times 15\text{週間}$$

の時間数が必要とされます。

例えば、前学期で22単位(11科目)履修登録した場合、1週間で授業以外に「4時間×11=44時間」の予習・復習が必要となり、月～土の6日間で考えると、1日平均約7時間の予習・復習が必要となります。したがって、無制限に履修登録すると消化不良を起こしてしまいます。**そこで本学では、年間で履修登録できる単位数と学期ごとに履修登録できる単位数にそれぞれ上限を設けています**(※詳細は5ページ「2 履修登録にあたっての注意事項」を参照のこと)。

IV. カリキュラム(学修体系)の特長 ーいろいろあるのが本学の特長ー

皆さんは、将来の目標があつて、それぞれの学科を選び、難関を突破して入学してきました。大学では、それに応えるべく、皆さんが満足できる、そして皆さんを、自信を持って社会に送り出せるようなカリキュラムを作っています。カリキュラムには、本学の伝統に培われた教育理念と、学風が盛込まれていることを、皆さんはしっかりと感じ取ることができるでしょう。以下に、科目の種類と学修体系の特長を記します。

◆科目の種類

①【必修科目】

各学科に配当された、学科のめざす専門分野の科目です。必修科目は、必ず履修して、合格の成績評価を受けないと卒業できません。1つでも不合格だと卒業できません。

②【選択必修科目】

各学科に配当された、学科のめざす専門分野の科目で、限定された科目群の中から、指定された単位数を修得しなければならない科目です。

③【選択科目】

各学科に配当された、より高い専門性を修得するための科目です。皆さんの意思で自由に選択できます。

◆学修体系の特長

【総合教育科目・外国語科目・専門教育科目】

本学のカリキュラムは総合教育科目と外国語科目と専門教育科目の3つに大別されます。

※詳細は「学生生活ハンドブック」の履修編「授業科目の概要」を参照のこと。

【英語による専門教育プログラム】

全学部全学科の学生を対象としたプログラムです。本学の専門的な教育科目を、すべて英語による授業で開講するものです。グローバル化時代に対応した大学教育の必要性から実施するものです。自分の英語の実力アップを計りながら、『Basic』なレベルの科目から『Advanced』な科目へ挑戦してください。

【教職課程・学術情報課程】

教員免許取得や学芸員、司書の資格を取得したい学生のために開講しています。これらの資格を取得したい学生は、自分で申請して履修手続きをしなければなりません。

V. 履修登録する ー選択科目を選ぶ、そこに自分の可能性が詰まっているー

必修科目以外の選択科目をいかに選ぶか。皆さん、より良い学修体系を創造していくためのアドバイスです。

① 自分の学修体系を決める。

卒業までの4年間を総合的に把握し、卒業後の将来を見据えた学習プランを考えてください。

→ 在学生は、成績表とともに、自分の学修体系を再確認すること。前年度までの学習計画を再検討するのに良い機会もある。さらに方向修正もできる。

② 科目名をチェック ⇒科目名で大体の内容がイメージできる。

- ◇ 自分の学科配当の選択科目
- ◇ 自分の学部の共通配当科目
- ◇ 他の学科、学部の科目

③ Web シラバス(講義要項)で科目の講義内容をチェック。

科目名だけでは、実際の細かな講義内容はわかりません。Web シラバスには、全科目の授業概要と到達目標、授業の進行、評価の方法など詳細が載っていますので活用してください。

④ 履修登録前に、履修したい候補の講義を受講する。

シラバスで科目の内容がわかつたら、実際の講義に出席して内容をチェックしてください。本当に学びたい科目なのか確認しましょう。履修登録前であれば、自分の興味に応じて自由に授業に出席することができます
※「上位学年の開講科目」を除く。また、「クラス指定がある科目」等、一部の科目を除く。

⑤ さあ、履修登録しましょう。⇒履修登録期間をチェック ※5ページに日程を記載

前学期の授業開始後に、後学期の開講科目を含めて、1年間分の科目を履修登録します。後学期の科目については、授業に出席せずに登録科目を決めなくてはいけませんが、後学期開始後に履修の変更登録期間を設けていますので、前学期と同様に登録前に授業に出席することができます。**変更登録期間では後学期開講科目の追加・削除・変更が可能です。**

履修登録するための諸注意を、5ページ以降に記載していますのでよく読んでください。

【重要】：履修登録は、定められた期間でしか行うことができません。忘れずに、また、間違いのないよう慎重に登録してください。

VI. 履修モデル

就職・進学するために有益な科目として推奨する「履修モデル」を学科別に記載していますので、参考にしてください(※履修モデルのとおりに受講しないと就職・進学・資格取得ができない、というわけではありません)。

(注意) 履修モデルに記載されている科目のみで、卒業要件単位や資格取得に必要な単位を充足するわけではありません。

当該学科の卒業要件単位(必修・選択必修・選択科目)、資格関係科目を全て修得しなければ、卒業や資格取得(受験資格を含む)することはできません。卒業及び資格取得に必要な単位の詳細は、入学時に配付した「学生生活ハンドブック」を参照してください。

VII. 学生の皆さんへの注意事項 ー自分のことは自分で、責任を持ってー

1. 配付した書類は熟読してください。
2. 学生ポータルサイトや掲示板を必ず確認してください。
3. 提出期限は厳格に守ってください。**(期限後は受付けません)**
4. **電話での問合せは一切受付けません。**
5. 学生教務課窓口の業務時間**(時間外は受付けません)**

【平日(授業期間)】8:30～17:00

VIII. 学部・学科等の名称の短縮表示・表示順番について

本学では学科等の名称を略して表示することがあります。また、掲示物などの順番も原則として次のように行います。

| 学部名等 | 略称名 |
|--|---|
| 農学部 農学科 動物科学科(1～3年次生) 畜産学科(4年次生) バイオセラピー学科(4年次生) 生物資源開発学科 デザイン農学科 | 農学部 農学 動物 畜産 セラピー ^{セラピ} 資源 デザイン |
| 応用生物科学部 農芸化学科(1～3年次) 生物応用化学科(4年次生) 醸造科学科 食品安全健康学科 栄養科学科 | 応生学部 化学 化学 醸造 健康 栄養 |
| 生命科学部 バイオサイエンス学科 分子生命化学科 分子微生物学科 | 生命学部 バイオ 生化 微生物 |
| 地域環境科学部 森林総合科学科 生産環境工学科 造園科学科 地域創成科学科 | 地域学部 森林 工学 造園 創成 |
| 国際食料情報学部 国際農業開発学科 食料環境経済学科 国際バイオビジネス学科 国際食農科学科 | 国際学部 開発 経済 ビジネス 食農 |
| 英語による専門教育プログラム 全学共通科目 教職課程 学術情報課程 | 英語専門 全学共通 教職 学情 |

2020年度 年間授業計画

(農学部・応用生物科学部・生命科学部・地域環境科学部・国際食料情報学部)

| 月 | 日 (曜日) | 行事予定 |
|----|--|--|
| 4 | 2 (木) 2 (木) ~ 8 (水) 9 (木) 25 (土) 29 (水) | 入学式【中止】 新入生各学科ガイダンス、在校生ガイダンス 新入生健康診断【延期】、在校生健康診断【延期】 新入生学外オリエンテーション【中止】 前学期授業開始 (7/15まで) 【授業日】月曜日授業 【授業日】昭和の日 |
| | 9 (土) 16 (土) 18 (月) 23 (土) 30 (土) | 【授業日】火曜日授業 【授業日】水曜日授業 【授業日】大学の記念日 【授業日】木曜日授業 【授業日】月曜日授業 |
| | 6 (土) 13 (土) 20 (土) 27 (土) | 教育懇談会 【授業日】火曜日授業 東京農大ホームカミングデー 【授業日】水曜日授業 |
| | 11 (土) 16 (木) ~ 22 (水) 23 (木) ~ 24 (金) ~ | 【授業日】金曜日授業 前学期定期試験 夏季休業 東京オリンピック |
| 8 | ~9 (日) 25 (火) ~ | 東京パラリンピック |
| 9 | ~6 (日) 上旬 19 (土) · 20 (日) 23 (水) 26 (土) · 27 (日) | 前学期定期試験の評価開示 オープンキャンパス (世田谷・厚木) 後学期授業開始 (1/25まで) 教育後援会地方懇談会 |
| | 24 (土) 29 (木) | ※総合型選抜入試【予定】 収穫祭準備に伴う休講期間 |
| | 3 (火) 21 (土) · 22 (日) 23 (月) | (世田谷キャンパス) 前夜祭 10/29, 収穫祭 10/30~11/1 (厚木キャンパス) 前夜祭 10/30, 収穫祭 10/31 · 11/1 (両キャンパス共通) 準備 10/29, 体育祭 11/2, 後片付け 11/3 ※学校推薦型選抜入試【予定】 【授業日】勤労感謝の日 |
| 12 | 5 (土) 29 (火) ~ | ※外国人・帰国子女・運動選手推薦、転入学・編入学・学士編入学入試【予定】 冬季休業 |
| 1 | ~7 (木) 8 (金) 15 (金) 16 (土) · 17 (日) 20 (水) 25 (月) 26 (火) ~ 29 (金) | 後学期授業再開 【休講日】大学入学共通テスト準備日 大学入学共通テスト試験日 火曜日授業 卒業論文題目届の提出期限 (3年次生) 後学期定期試験 卒業論文の提出期限 (卒業年次生) |
| | ~1 (月) 3 (水) ~ 5 (金) 中旬 28 (日) | 後学期定期試験 ※一般選抜入試A日程【予定】 後学期定期試験の評価開示 ※一般選抜入試B日程【予定】 |
| | 6 (土) 12 (金) 20 (土) 21 (日) | 学校法人の創立記念日 卒業確定者及び進級確定者の発表 学位記授与式 (世田谷キャンパス) 学位記授与式 (厚木キャンパス) |

1 履修登録日程

※新型コロナウィルスの感染拡大に伴い変更が生じる可能性がある。最新の情報は大学HP、学生ポータルを通じ連絡する。

| | |
|-----------------------|---|
| 4月9日(木)～ | 前学期授業開始 |
| 4月20日(月)～ 4月24日(金) | 前学期履修登録期間(学生ポータルサイトから) ※4月24日は17時で終了 |
| 4月29日(水) 夕方 | 履修登録開示日(学生ポータルサイトにて開示) 各自登録内容を確認する。 |
| 5月7日(木)～ 5月9日(土) | 前学期履修修正期間(学生ポータルサイトから) ※5月9日は17時で終了 |
| 5月13日(水) 夕方 | 履修修正登録開示日(学生ポータルサイトにて開示) 各自登録内容を確認する。 |
| 9月23日(水)～ | 後学期授業開始 ※後学期履修変更期間については7月下旬に掲示 |

※復学・原級・留年の学生は窓口にて履修登録の指示を受けること。

2 履修登録にあたっての注意事項

履修は必ず全員が登録し、登録内容を確認すること(休学者を除く)。

※ 必修科目(当該学年の必修科目)のみ履修する場合でも必ず確認すること。

(1)履修登録の手順

- ① 用意するもの:学生生活ハンドブック・履修のてびき(時間割)・シラバス
※ 授業の内容についてはWeb シラバスを参照のこと。
- ② 履修のてびき 28 ページから記載の学科・学年別時間割を開く。
- ③ 履修のてびき 14 ページの必修科目自動登録単位数一覧表で自動登録されている科目数を確認する。
- ④ 履修希望科目的履修番号を開講の曜日时限に登録する(15 ページの履修登録の入力方法を参照)。
- ⑤ 登録した科目・クラス等は、最終確認のため必ず印刷すること。

(2)履修登録上の注意事項

- ① 履修番号の登録を間違えると、エラーまたは全く別の科目が登録されるので注意すること。
- ② 在籍学年の必修科目は自動登録されているので登録する必要はない。万が一自動登録科目を変更する場合は、一度科目を削除して新たに登録する科目的履修番号をその時間帯に登録すること。
※復学・原級・再入学・転学部・転学科・編入学及び過去に休学した者は、卒業まで自動登録とならないので、各自で履修番号を登録すること。
- ③ 次のとおり学期ごと及び 1 年間に履修できる単位数は制限されている。これをキャップ制という。制限を超えて登録した場合は、エラーが表示されるので、超えた単位数に応じて科目を削除すること。削除しない場合は、超えた単位数分の科目が自動削除されるので注意すること。

学期ごとに 25 単位まで・年間 49 単位まで(キャップ制)

※ リメディアル科目、教職課程・学術情報課程科目、東京情報大学との協定に基づく履修科目は制限の対象外とする。

- ④ 同時限に開講している科目は、いずれかを選んで履修番号を登録すること。
- ⑤ 同一時限に隔週で開講する科目を履修する場合は、同一時限に登録すること。
- ⑥ 在学年次のクラス分けのある科目は、クラス分け表に基づき、各自のクラスの履修番号を登録すること。
- ⑦ 低学年次のクラス分けのある科目は、クラスを選んで履修番号を登録すること(一部を除く)。
- ⑧ 2 時限以上続けて開講する科目は、授業開始時限のみ履修番号を登録すること。
- ⑨ 集中授業科目は、開講学期にあわせて時間割外科目登録欄に履修番号を登録すること。
- ⑩ 通年科目は、前学期授業開始時限のみ履修番号を登録すること。
- ⑪ 高学年次配当科目は履修できない(他学科・他学部聴講の場合も同様)。
- ⑫ いかなる理由があっても前学期開講科目(通年・前期集中科目含む)は、後学期履修変更登録期間には削除できない。

履修登録単位数制限(キャップ制)の計算方法

- ・ 前学期開講科目は前学期の登録単位数としてカウントし、年間の単位数としてもカウントする。
- ・ 後学期開講科目は後学期の登録単位数としてカウントし、年間の単位数としてもカウントする。
- ・ 1 年間開講する科目(通年科目)は、単位数を二分し、各学期の登録単位数としてカウントし、年間の単位数としてもカウントする。
- ・ 集中開講科目(時間割外科目)は、年間の単位数としてカウントする。

【計算例】

| | |
|------------------|---|
| 前学期科目 24 単位を登録…A | 前学期 : $A + C/2 = 25$ 単位 |
| 後学期科目 20 単位を登録…B | 後学期 : $B + C/2 = 21$ 単位 |
| 通 年 科目 2 単位を登録…C | 年 間 : $(A + C/2) + (B + C/2) + D = 48$ 単位 |
| 集 中 科目 2 単位を登録…D | |

履修に関する重要事項

履修登録に関する情報は、学生ポータルサイトを通じて行う。また、学期ごとの成績開示もすべての学科・学年において学生ポータルサイトを通じて行う。
普段から学生ポータルサイトを確認する習慣をつけること。

3 履修登録上、特に注意を要する授業科目

(1) 英語科目

英語(一),(二),(三),(四)の履修については、昨年度の1月に実施した英語到達度試験の結果により履修クラスを決定する。
前期・後期開講科目を問わず、クラス分けに関わる試験を受験しない場合英語は原則履修できない。
再履修が必要な者は必ず4月3日に行うクラス分け試験を受験すること。**クラス変更是認められない。**
※ 外国語科の基盤英語科目・実用英語科目については、他学科・他学部聴講は認められない。

(2) スポーツ・レクリエーション(一)・(二)

履修人数に定員を定めており、**次の日程でクラス分けを行うので、履修希望者は必ず出席すること。**

第1回目の授業(体育館集合、上履き持参)

なお、定員を大幅に上回った場合は、人数調整を行う。授業担当者から履修を認められた者のみ履修登録できる。

※ 2年次以上の生徒はどの学科のクラスでも履修することができる。この場合は必ず第1回目の授業に出席すること。

(3) リメディアル教育科目

リメディアル教育科目は、1年次に開講する。年度当初に受講対象者を決定し、対象生徒は指定の授業に必ず出席しなければならない。他学部・他学科の同名科目は履修できない。**同科目は卒業要件単位には含まれないので、注意すること。**

(4) クラス分けのある授業科目

- ① **クラス分けは、所属学科の在学年次の開講科目のみに適用される(一部を除く)。クラス分けのある科目は、クラス分け表に基づき自分の所属するクラスを確認すること。**
- ② 学科指定のある科目は、自分の学科で履修すること。ただし低学年次配当科目については、クラスを選んで履修することができる(一部を除く)。
- ③ 外国語科目・専門教育科目の学科基礎科目の時間割に、A・B・C…でクラス分けがある場合は、クラスを選択できる。ただし、指定があるので、ガイダンス等の指示に従うこと。
- ④ 教職・学術情報課程の時間割に、A・Bでクラス分けがある場合は、クラスを選んで履修すること。

(5) 他学科・他学部聴講

- ① 他学科・他学部聴講を希望する場合は、各学科の時間割(※世田谷キャンパスの時間割は、学生ポータル掲載)を参照し、希望科目的履修番号を登録すること。クラス分けがある科目については、クラスを選んで登録すること。
- ② 他学科・他学部聴講は、高学年次配当科目を履修できない。
- ③ 他学科・他学部の履修登録単位の上限は、在学中合計 30 単位である。

※ 合否にかかわらず、履修登録が確定した時点で単位数がカウントされる。

- ④ 次の科目については他学科・他学部聴講の対象外とする。
 - 実験・実習・演習(研修を含む)科目(開発「海外農業実習(一)(二)(三)」を除く)
 - 各学部の総合教育科目の導入科目、英語科目、就職準備科目
 - 一部の学部または学科開講科目
 - ・応生「現代の環境問題」・化学「土壤学」「環境科学」・醸造「発酵食品化学」「飲酒生理学」
 - ・健康「リスクマネジメント論」・栄養「栄養士関係科目及び管理栄養士関係科目」
 - ・地域「文学概論」「哲学」・森林「森林昆虫学」(森林以外履修不可)
 - ・「森林文化論」「きのこ学」(ただし、工学・造園・創成は他学科聴講可)
 - ・工学「作物栽培学」「数学」「応用数学」
 - ・国際「栽培学入門」・開発「熱帯土壤学」(ただし、経済・ビジネス・食農は他学科聴講可)
 - ・「栽培学原論」「植物学」(開発以外履修不可)・経済「食料経済学」「食品マーケティング論」
 - ・食農「フードスペシャリスト論」「グローバリゼーションと食品流通」「調理学」

(6) その他、各学部の特有な科目

- ① 初修外国語関係科目「中国語・スペイン語」を履修する場合は、いずれかを選択して履修すること。複数の語学を選択することはできない。(2019 年度からドイツ語とフランス語は閉講)
※過去に合否に関わらずいずれかの初修外国語科目を履修している場合、他の科目を履修することはできない。
- ② 【共通】前学期に履修登録した科目について、単位を修得できなかった場合、後学期に同名科目を再度履修することはできない。

(7) 同名科目

次の表は、複数の学部・学科で開講している同名の授業科目一覧である。以下の点に注意すること。

- ① 所属学科(配当学年を問わず)にある科目と同名の科目は、他学科・他学部聴講できない。
- ② 同名科目において、既に単位修得している場合は再度の履修はできない。

同名科目

| 科目名 | 学部 | 学科 | 学年 |
|----------|------|------|----|
| 中国語(一) | 農学部 | 学部共通 | 2 |
| | 応生学部 | 学部共通 | 1 |
| | 生命学部 | 学部共通 | 1 |
| | 地域学部 | 学部共通 | 1 |
| | 国際学部 | 学部共通 | 1 |
| 中国語(二) | 農学部 | 学部共通 | 2 |
| | 応生学部 | 学部共通 | 1 |
| | 生命学部 | 学部共通 | 1 |
| | 地域学部 | 学部共通 | 1 |
| | 国際学部 | 学部共通 | 1 |
| 日本国憲法 | 農学部 | 全学科 | 1 |
| | 応生学部 | 全学科 | 2 |
| | 生命学部 | 全学科 | 2 |
| | 地域学部 | 全学科 | 2 |
| | 国際学部 | 全学科 | 1 |
| 経済入門 | 農学部 | 全学科 | 1 |
| | 応生学部 | 全学科 | 2 |
| | 生命学部 | 全学科 | 1 |
| 現代社会の諸問題 | 農学部 | 全学科 | 2 |
| 国際関係を考える | 農学部 | 全学科 | 2 |
| 生物学 | 農学部 | 全学科 | 1 |
| | 応生学部 | 全学科 | 1 |
| | 生命学部 | 全学科 | 1 |
| | 地域学部 | 全学科 | 1 |
| | 国際学部 | 全学科 | 1 |
| 化学 | 農学部 | 全学科 | 1 |
| | 応生学部 | 全学科 | 1 |
| | 生命学部 | 全学科 | 1 |
| | 地域学部 | 全学科 | 1 |
| | 国際学部 | 全学科 | 1 |
| 物理学 | 農学部 | 全学科 | 1 |
| | 応生学部 | 全学科 | 1 |
| | 生命学部 | 全学科 | 1 |
| | 地域学部 | 全学科 | 1 |
| | 国際学部 | 全学科 | 1 |
| 地学 | 農学部 | 全学科 | 2 |
| | 応生学部 | 全学科 | 1 |
| | 生命学部 | 全学科 | 1 |
| | 地域学部 | 全学科 | 1 |
| | 国際学部 | 全学科 | 2 |
| 数学 | 農学部 | 全学科 | 1 |
| | 生命学部 | バイオ | 1 |
| | 生命学部 | 微生物 | 1 |
| | 地域学部 | 工学 | 1 |
| | 国際学部 | 全学科 | 1 |
| 農業経営学 | 農学部 | 学部共通 | 3 |
| | 国際学部 | 開発 | 2 |
| | 国際学部 | 経済 | 2 |
| | 国際学部 | 食農 | 3 |
| 分子生物学 | 農学部 | 学部共通 | 3 |
| | 応生学部 | 化学 | 2 |
| | 応生学部 | 健康 | 2 |

| 科目名 | 学部 | 学科 | 学年 |
|----------|------|------|----|
| スペイン語(一) | 農学部 | 学部共通 | 2 |
| | 応生学部 | 学部共通 | 1 |
| | 生命学部 | 学部共通 | 1 |
| | 国際学部 | 学部共通 | 1 |
| | 農学部 | 学部共通 | 2 |
| スペイン語(二) | 応生学部 | 学部共通 | 1 |
| | 生命学部 | 学部共通 | 1 |
| | 国際学部 | 学部共通 | 1 |
| | 農学部 | 学部共通 | 3 |
| | 応生学部 | 全学科 | 3 |
| 生命科学 | 農学部 | 学部共通 | 3 |
| 生命倫理 | 応生学部 | 全学科 | 2 |
| | 農学部 | 全学科 | 1 |
| | 生命学部 | 全学科 | 1 |
| 科学と哲学 | 農学部 | 全学科 | 3 |
| | 応生学部 | 全学科 | 1 |
| | 生命学部 | 全学科 | 1 |
| 芸術 | 農学部 | 全学科 | 1 |
| 文化人類学 | 農学部 | 全学科 | 2 |
| | 国際学部 | 全学科 | 1 |
| 遺伝学 | 農学部 | 農学 | 1 |
| 家畜栄養学 | 農学部 | セラピー | 1 |
| | 農学部 | 畜産 | 1 |
| | 農学部 | セラピー | 2 |
| 家畜管理学 | 農学部 | 畜産 | 1 |
| 土壤学 | 農学部 | セラピー | 2 |
| | 農学部 | 農学 | 1 |
| | 応生学部 | 化学 | 2 |
| 生化学 | 農学部 | 畜産 | 1 |
| | 応生学部 | 健康 | 1 |
| | 生命学部 | バイオ | 1 |
| 植物育種学 | 農学部 | 生化 | 3 |
| | 農学部 | 農学 | 2 |
| | 国際学部 | 食農 | 3 |
| 植物病理学 | 農学部 | 農学 | 1 |
| | 応生学部 | 化学 | 3 |
| | 生命学部 | 微生物 | 2 |
| 実験動物学 | 農学部 | 微生物 | 1 |
| | 農学部 | 畜産 | 1 |
| | 生命学部 | バイオ | 3 |
| 食品衛生学 | 農学部 | 畜産 | 3 |
| | 応生学部 | 化学 | 3 |
| | 応生学部 | 健康 | 2 |
| | 応生学部 | 栄養 | 2 |
| | 生命学部 | バイオ | 3 |
| | 国際学部 | 食農 | 2 |
| 食品微生物学 | 農学部 | 畜産 | 2 |
| | 応生学部 | 醸造 | 1 |
| 生物統計学 | 農学部 | 畜産 | 2 |
| | 農学部 | セラピー | 3 |
| | 応生学部 | 健康 | 3 |
| | 生命学部 | 全学科 | 1 |

4 英語による専門教育プログラムの履修登録

Courses Offered by Special Program (Conducted in English) :

「Agriculture, Food and Environment」

◎ 「英語による専門教育プログラム」受講の勧め

日本人の学生はもとより海外からの留学生に対して、日本およびほかのアジア諸国における食料、農業ならびに環境に関する現状と課題を総合的に理解してもらうことを目的に、2002 年度から開講しているものです。英語での授業を通じて、日本人の学生にとって、自分の専門分野を英語で習得するよい機会となってそれが留学プログラムを立案したり、International Studies をより深く理解することに役立ち、また留学生にとっては日本語の授業で十分理解しえない部分を習得できる絶好の機会となります。将来を通じた自分のキャリア・ステップを考慮に入れて、受講されることを強く勧めます。

(1) Program Title:

Special Program (Conducted in English) : Agriculture, Food and Environment

(2) Rationale

An integrated approach is important for the solution of problems of mankind in such areas as food, environment, health, resources and energy, which are all mutually related and interwoven. The food problem generally refers to problems of food production, distribution and consumption, thus covering a wide range of topics. For instance, food production is closely related not only to natural environment but also agricultural and food processing technologies. Distribution of food is determined by political and economic mechanisms, while improved storage and distribution technologies have tremendously contributed to the widening scope of marketing. Food consumption is highly related to the level of income but culture, social norms and dietary habits are other key determinants of what and how people consume food.

Modern agricultural science has greatly contributed to increased food production, which has expanded beyond global population growth. However, problems of environmental destruction and unassured food safety have also emerged. The urgent need to assure environmental conservation and safe food supply are now globally recognized. At Tokyo University of Agriculture, a multidisciplinary, all-university-education program is now being offered for the study of food and environment. Integrated learning of agriculture, food and environmental issues guides students to see how they can make a contribution to solving global issues in the 21st century.

This program provides the opportunity for Japanese students as well as international students to gain holistic understanding on issues of food, agriculture and environment in Japan and other Asian countries.

(3) Time Table(in 2020)

This program was established in April 2002 (not listed in the 2002 course catalogue). The courses are offered to all students in 2020. It is our advice that you select courses according to your English ability.

【First semester】

Comparative Nature Study from Cultural Perspective
Environment and Agriculture
Food and Environment in Economic Development
Food and Health 1
Forest and Forestry
Global Food Systems
Japanese Agricultural Development
Life History and Applications of Landscape Plants
Planning and Design of Landscape Architecture
Vegetable Production Technologies for International Cooperation
Introduction to Bioindustry

【Second semester】

Agricultural Scientific English for International Cooperation
Agricultural Trade
Agro-Environmental Engineering
Comparative Developing Agriculture
Comparative Food Production Technologies
Ecology and Agricultural Production
Ecology and Food Production
Edo Aesthetics and Environmental Resiliency
Food and Health 2
Farmers and Consumers in Japan (intensive)
Group Approach to Food and Environment (intensive)
Molecular Biology and Biotechnology
Eastern Hokkaido: Identifying Opportunities in a Region of Declining Population

(4) Credits

Each course carries two credits. Credits earned in this program can be counted for graduation requirements, to a maximum of 30 credits under the inter-faculty enrollment system, as specified in Article 15 (3) in the TUA Constitution.

(5) Examination and Grade

Examinations are conducted during the lecture period. Students are requested to follow the instructions of the lecturers. Since supplementary examinations will not be provided, unsuccessful students are required to re-enroll in the following years.

(6) Fees Required

No additional payment is required. However, as fieldtrips and experiments are needed, the students enrolled in Group Approach to Food and Environment are required to cover their own expenses. Details will be given in the class.

(7) You may sit-in under this program

For those students who are interested in the program but are unsure of their English competency, auditing is allowed upon permission from the lecturer. No registration is required in this case, but students can make a formal registration after gaining confidence.

2020年度 英語による専門教育プログラムガイドライン一覧

| 科目名 | 項目 | 開講するキャンパス | 主な履修対象者 | 履修者に求められる英語能力 TOEFLスコア点数等 英語力初級・中級・上級 | 海外留学を目指す学生 への推奨科目 (該当の場合○) |
|--|----|-----------|---|---|----------------------------------|
| Comparative Nature Study from Cultural Perspective | | 世田谷 | 全学生 | 自分の考えを述べようとする気持ち(中級) | — |
| Environment and Agriculture | | 世田谷 | 全学生 | 中級以上 | ○ |
| Food and Environment in Economic Development | | 世田谷 | 日本人学生,外国人留学生 visiting student,協力隊希望者 | 中級 | ○ |
| Food and Health 1 | | 世田谷 | 外国人留学生,日本人学生 | 無し | — |
| Forest and Forestry | | 世田谷 | 全学生 | 英語能力よりも学ぼうとする姿勢を重視 | ○ |
| Global Food Systems | | 世田谷 | 全学生 | 中学生程度の英語力 | — |
| Japanese Agricultural Development | | 世田谷 | 全学生 | 初級～中級 | ○ |
| Life History and Applications of Landscape Plants | | 世田谷 | 全学生 | 無し | — |
| Planning and Design of Landscape Architecture | | 世田谷 | 外国人留学生 visiting student | 初級～中級 | — |
| Vegetable Production Technologies for International Cooperation | | 世田谷 | 全学生 | 中級以上 | ○ |
| Introduction to Bioindustry | | オホーツク | 日本人学生,外国人留学生 visiting student,協力隊希望者 | 中級～上級 | ○ |
| Agricultural Scientific English for International Cooperation | | 世田谷 | visiting student,協力隊希望者 | 無し | — |
| Agricultural Trade | | 世田谷 | 全学生 | 中学生程度 | ○ |
| Agro-Environmental Engineering | | 世田谷 | 全学生 | 中級以上 | ○ |
| Comparative Developing Agriculture | | 世田谷 | 全学生 | 特になし | — |
| Comparative Food Production Technologies | | 世田谷 | 日本人学生,外国人留学生 visiting student | 英語力中級～上級 | — |
| Ecology and Agricultural Production | | 厚木 | 全学生 | 中級以上 | — |
| Ecology and Food Production | | 世田谷 | 全学生 | 英語の専門テキストが無理なく理解でき、 英語でディスカッションできるレベル | ○ |
| Food and Health 2 | | 世田谷 | 日本人学生,外国人留学生 visiting student | 中級以上 | ○ |
| Farmers and Consumers in Japan | | 世田谷 | visiting student | 学ぶ意欲を重視 | — |
| Group Approach to Food and Environment | | 世田谷 | 日本人学生,外国人留学生 | 上級 | ○ |
| Molecular Biology and Biotechnology | | 世田谷 | 全学生 | 初級 | ○ |
| Eastern Hokkaido : Identifying Opportunities in a Region of Declining Population | | オホーツク | 日本人学生,外国人留学生 | 中級以上 | ○ |
| Edo Aesthetics and Environmental Resiliency | | 世田谷 | 全学生 | 自分の考えを述べようとする気持ち(中級) | — |

※授業詳細等については、シラバスおよび世田谷キャンパス履修のてびきを参照のこと。

5 農学部(厚木キャンパス) の「特別講義」履修登録について

農学部の「特別講義」を履修する場合は、次の注意事項にしたがい履修登録してください。

- ①「特別講義」は厚木キャンパスで1コース、世田谷キャンパスで複数コースを開講します。在学中4コースまで履修し単位を修得することができます。(特別講義(一)・特別講義(二)・特別講義(三)・特別講義(四))
- ②開講曜日・時限が異なれば1年間に2コース以上の履修が可能です。なお、履修登録単位は年間・各学期の履修制限単位数に含まれます。
- ③農学部(厚木キャンパス)の「特別講義」を履修する場合は、下表にもとづきWeb履修登録をしてください。

はじめて「特別講義」を履修する場合は「特別講義(一)」を履修登録してください。

前年度までに特別講義の単位を修得し、今年度も履修する場合は順次(二)・(三)・(四)を履修登録してください。

| 学期 | 曜日 | 時限 | 履修番号 | 科目名 | 履修単位 | 評価責任者 | 教室 |
|-------------|-------------|-----|-------|---------|------|-------|-------------------------|
| 前 学 期 | 水 曜 日 | 5~6 | A1060 | 特別講義(一) | 2 | 小川 博 | 厚木キャンパス 講義棟 トリニティホール |
| | | | A1061 | 特別講義(二) | | | |
| | | | A1062 | 特別講義(三) | | | |
| | | | A1063 | 特別講義(四) | | | |

※前年度までに特別講義(一)の単位を修得し、今年度も履修する場合は、特別講義(二)を履修登録してください。

令和2(2020)年度 農学部特別講義開講日程

| No. | 開講日 | 講義テーマ | 講師 | |
|-----|-------|--|--------|---------------------------------|
| 1 | 4月15日 | 食と農の地域活性化 | 大桃 美代子 | 女優・ジャーナリスト |
| 2 | 4月22日 | 「競走馬の科学」～ゲノム科学と遺伝学からサラブレッド種を考える～ | 戸崎 晃明 | 競走馬理化学研究所遺伝子分析部 専門役 |
| 3 | 4月29日 | 脊椎動物の肺・鰓に関する進化発生学 | 藤村 衡至 | 新潟大学 理学部理学科 自然環境科学プログラム 助教 |
| 4 | 5月13日 | 環境にやさしい有害生物管理 | 仲島 義貴 | 東京農業大学農学部生物資源開発学科 昆虫学研究室 研究員 |
| 5 | 5月20日 | 水田雑草の生態と防除 | 内野 彰 | 中央農業研究センター 上級研究員 |
| 6 | 5月27日 | 常緑針葉樹はどのようにして寒冷環境に適応しているのか？ | 種子田 春彦 | 東京大学大学院 理学系研究科 助教 |
| 7 | 6月3日 | 家畜のゲノム解析研究と育種改良 | 小林 栄治 | 農研機構 畜産研究部門 ユニット長 |
| 8 | 6月10日 | 高知県のユズ栽培と農業試験場の仕事～高知県農業技術センター果樹試験場の場合～ | 杉本 達哉 | 高知県農業技術センター 果樹試験場 研究員 |
| 9 | 6月17日 | (仮)ジャーナリストからみた日本農業の課題 | 合瀬 宏毅 | NHK解説員室 解説主幹 |
| 10 | 6月24日 | 生き物から学ぶまちづくり、—バイオミメティクスによる都市の生活習慣病対策— | 谷口 守 | 筑波大学システム情報系社会工学域教授 |
| 11 | 7月1日 | ESG・SDGsおよび気候変動「適応策」から見るこれからの農業とは | 新美 陽大 | 日本総合研究所 創発戦略センター スペシャリスト |
| 12 | 7月8日 | 肉養鶏ブロイラーの運命 | 村上 覚史 | 元東京農業大学畜産学科教授 |

- ④農学部学生で世田谷キャンパス開講の「特別講義」を履修する場合

- (1)履修希望者は学生ポータルで世田谷キャンパスの時間割等を参照し、当該学期の履修登録期間中にWeb履修登録をしてください。
- (2)各コースの開講日程・教室等は時間割表・シラバス等で確認のうえ授業に出席してください。

6 全学共通科目「日本語」の履修登録

この科目は、外国人留学生及び帰国子女を対象として開講する授業科目である。修得した単位は、卒業要件として他学科履修・他学部履修・英語による専門教育プログラムと合わせて30単位まで含めることができる。

7 東京情報大学との協定に基づく科目的履修登録

※学生教務課窓口で確認のこと。

8 必修科目自動登録単位数一覧表（2020年度時間割に基づく）

| 学科名 | 学期 | 4年次 |
|---------------|-----|-------|
| 農学 (農生コース) | 前学期 | 6/25 |
| | 後学期 | 6/25 |
| | 年間 | 12/49 |
| 農学 (園芸コース) | 前学期 | 6/25 |
| | 後学期 | 6/25 |
| | 年間 | 12/49 |
| 畜産 | 前学期 | 3/25 |
| | 後学期 | 3/25 |
| | 年間 | 6/49 |
| セラピー | 前学期 | 5/25 |
| | 後学期 | 5/25 |
| | 年間 | 10/49 |

○この表は自動登録してある必修科目的単位数を表示している。

○この単位数を確認し履修登録単位数制限以内で履修登録を行うこと。

※登録されている必修科目を取り消して別の科目を登録する場合は、当該科目的開講曜日・時限に

履修番号を登録すること(これにより自動登録されている必修科目は削除される)。

○次の学生は自動登録されないので、必修科目についても履修番号を登録すること。

復学・原級・再入学・編入学・学士編入学・転学部・転学科および過去に休学した者。

○前年度までに履修登録した他学科・他学部聽講および大学間履修の登録総単位数を成績台帳で確認して上限を超えて登録しないよう注意すること。

9 履修登録の入力方法

履修登録は学生ポータルサイトの照会「履修登録(修正)」からできます。登録方法は以下のとおりです。

(1) 学生ポータルを開き「履修登録・修正」をクリックします。

The screenshot shows the Tokyo Nodai Information Portal homepage. A red box highlights the '教務情報' (Academic Information) tab. Another red box highlights the '履修登録(修正)' (Enrollment Registration (修正)) link under the '教務揭示一覧' (Academic Information List). To the right, a callout box states: 「教務情報」タブを選択 「履修登録(修正)」をクリック (Select the '教務情報' tab and click '履修登録(修正)'). Below this, another callout box in pink states: 【注】住所確認(または変更)を行って いない学生は、Web 履修システム を利用することができません。 (Note: If you have not confirmed or changed your address, you cannot use the Web Enrollment System.)

(2) 履修登録画面が表示されます。

The screenshot shows the enrollment registration page. At the top, there are buttons for '登録内容入力' (Input registration content), '登録内容確認' (Check registration content), and '登録完了' (Registration completed). Below this, a message says '登録したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。' (Please select the days and time slots for the courses you want to register for.). There are three tabs: '2016年 前学期' (2016 Spring Semester), '2016年 後学期' (2016 Fall Semester), and '2017年 春学期' (2017 Spring Semester). The '2016年 後学期' tab is selected. The main area shows a grid of days (月曜日 to 木曜日) and time slots (1時限 to 7時限). Icons indicate course details: ① '他' (Other) for cross-listed courses; ② '再履修' (Resubmission) for resubmitted courses; and ③ '履修単位' (Credit units) for cumulative unit counts. At the bottom, there is a table for '集中講義' (Concentrated Lectures) showing '学期' (Semester), '開講番号' (Course number), '開講科目名' (Course name), and '担当教員' (Instructor). Below this is a table for '履修単位' (Credit units) with columns for '上限' (Upper limit), '下限' (Lower limit), '履修単位' (Credit units), '前学期' (Previous semester), '後学期' (Current semester), '年間' (Yearly), and '累積' (Cumulative).

初期表示は現在の年度・学期の登録画面であり、登録されている開講科目が表示されています。

①他所属講義アイコン

コマに他所属講義がある場合、他所属を表す画像[他]が表示されます。

②再履修科目アイコン

コマに再履修科目がある場合、再履修を表す画像[再履修]が表示されます。

③履修単位

学期、年間、累積(他所属のみ)の履修単位数が確認できます。学期、年間は制限単位数(黒字)と、履修中の単位の和(赤字)を表示します。累積は制限単位数(黒字)と、今まで履修してきた単位+登録中の単位の和(赤字)を表示します。更にカッコ内に前の学期までの数が表示されます。

*履修単位の上限については、カリキュラム・学科によって異なります。

(3) 履修登録を追加します。

新しく履修登録を追加(履修を申請)する方法について

①-1. 時間割表にある新規追加アイコン([]アイコン)をクリックします。

| 2016年 前学期 | | 2016年 後学期 | | | | |
|-----------|---------------------------------|--|---|-----|--|--|
| 時限 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | |
| 1時限 | 他 S6517 花卉栽培論 20357の氏名(略) | | | | 01356 情報基礎(二) 食 新カリ 20359の氏名(略) | |
| 2時限 | | SS179 生物物理化学【旧 方】 20168の氏名(略) | | | 01356 情報基礎(二) 食 新カリ 20359の氏名(略) | |
| 3時限 | S5263 共通演習 10547の氏名(略)他 | | 再履修 [有料履修] S0518 英語(四) 20167の氏名(略) | [] | | |

[]アイコンをクリック

①-2. 開講科目選択画面が表示されます。

所属学部学科開講科目と全学開講科目が表示されます。

| 選択 | 開講番号 | 必履修種別 | 開講科目名 | 分野系列 | 単位 | 担当教員 | 再履修 | 有料 | 情報 |
|--------------------------|-------|------------------------|-----------------------|------|-------|------|-----|----|----|
| <input type="checkbox"/> | 03151 | TOEIC英語(二) 生 B 新カリ | 【総合教育科目 全学 共通】英語科目 | 2 | 須田 誠 | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 03152 | TOEIC英語(二) ア B 新カリ | 【総合教育科目 全学 共通】英語科目 | 2 | 朝田 正司 | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 03381 | TOEIC英語(二) 食 B 新カリ | 【総合教育科目 全学 共通】英語科目 | 2 | 間山 琴 | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 03471 | TOEIC英語(二) 食 B 新カリ | 【総合教育科目 全学 共通】英語科目 | 2 | 南田 育江 | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 05862 | TOEIC英語(二) ア B 新カリ | 【総合教育科目 全学 共通】英語科目 | 2 | 宮坂 里奈 | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 50640 | 必 英語(四)を学ぶ2 A 生講 | 英語科目 | 2 | 桜本 直太 | | | | |

[閉じる] [登録する]

「開講番号(履修番号)」「開講科目名・
担当教員」等の情報を確認する。
表示されている開講科目から選択し
[登録する]をクリックします。

②-1. 開講科目を検索して登録します。

| 登録内容入力 | → 登録内容確認 | → 登録完了 | | | |
|--|---------------------------------|--------|-----|--|-----|
| 履修したい開講科目のある曜日・時限を複数指定してください。 | | | | | |
| <input type="radio"/> 集中講義選択 <input type="radio"/> 他所属講義選択 <input checked="" type="radio"/> 開講科目検索 | | | | | |
| 2016年 前学期 | 2016年 後学期 | | | | |
| 時限 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
| 1時限 | 他 S6517 花卉栽培論 20357の氏名(略) | | | 01356 情報基礎(二) 食 新カリ 20359の氏名(略) | |

[開講科目検索]をクリックします。

②-2. 検索画面が表示されます。

| 検索条件 | 検索結果 |
|-----------------------------|-------------|
| <input type="radio"/> 曜日 | |
| <input type="radio"/> 時限 | |
| <input type="radio"/> 開講番号 | (前方一致) |
| <input type="radio"/> 開講科目名 | (部分一致) |
| <input type="radio"/> 分野系列 | |
| <input type="radio"/> 担当教員 | (部分一致) |
| [閉じる] | [開講科目を検索する] |

「開講番号」で検索する場合の注意

- 履修番号 4桁の数字の前に、
必ず半角英字をつけてください。
- 世田谷キャンパスの講義:「S* * * *」
- 厚木キャンパスの講義:「A* * * *」
- オホーツクキャンパスの講義:「O* * * *」

③-1. 他所属講義を登録します。

The screenshot shows the 'Registration' screen with the following interface elements:

- Top navigation: 登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了
- Text: 領修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。
- Buttons: 集中講義選択, 他所属講義選択 (highlighted with a red box), 開講科目検索
- Date selection: 2016年 前学期 [2016年 後学期]
- Time selection: 時限: 月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日
- Table: 1時限
S6517 花卉栽培論 (20357)の氏名(略)
- Bottom buttons: 未登録, 登録済, 変更不可

[他所属講義選択]をクリックします。

③-2. 他所属講義選択画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Other Department Lecture Selection' dialog box with the following interface elements:

- Top navigation: 他所属講義選択
- Text: 2016年 後学期
他所属講義を選択してください。
- Table: 列: 選択, 開講番号, 必履種別, 開講科目名, 分野系列, 単位, 担当教員, 両履修, 有料, 情報
行: S6517, 花卉栽培論 (20357)の氏名(略)
- Buttons: 閉じる, 開講科目を追加する (highlighted with a red box), 登録する (highlighted with a red box)

表示されている開講科目を選択し、
[登録する]をクリックします。

※他所属講義科目を追加

表示されている開講科目以外の開講科目を登録する場合は、[開講科目を追加する]をクリックすると登録できます。

④-1. 集中講義を登録します。

The screenshot shows the 'Registration' screen with the following interface elements:

- Top navigation: 登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了
- Text: 領修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。
- Buttons: 集中講義選択 (highlighted with a red box), 他所属講義選択, 開講科目検索
- Date selection: 2016年 前学期 [2016年 後学期]
- Time selection: 時限: 月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日
- Table: 1時限
S6517 花卉栽培論 (20357)の氏名(略)
- Bottom buttons: 未登録, 登録済, 変更不可

[集中講義選択]をクリックします。

④-2. 集中講義選択画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Concentrated Lecture Selection' dialog box with the following interface elements:

- Top navigation: 集中講義選択
- Text: 2016年 後学期
集中講義を選択してください。
- Table: 列: 選択, 開講番号, 必履種別, 開講科目名, 分野系列, 単位, 担当教員, 両履修, 有料, 情報
行: O1130, 特別講義(一) 生 A 新カリ
O1235, 特別講義(一) フ A 新カリ
O1306, 特別講義(一) 算 A 新カリ
O1448, 特別講義(一) 産 A 新カリ
O1504, 口述演(一) 第 新カリ 全授業
- Buttons: 閉じる, 登録する (highlighted with a red box)

「開講番号(履修番号)」「開講科目名・担当教員 等の情報を確認します。

表示されている開講科目から選択し

[登録する]をクリックします。

(4) 履修を削除することができます。

| 2016年 前学期 | | 2016年 後学期 | | | | |
|-----------|------------------------------------|---|--|--|-----|--|
| 時限 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | |
| 1時限 | ■ 他 S6517 花卉栽培論 201607の氏名(略) | | | ■ 01356 情報基礎(二) 食 新力 201603の氏名(略) | | |
| 2時限 | | ■ S8179 生物物理化学【旧 方】 201603の氏名(略) | | ■ 01356 情報基礎(二) 食 新力 201603の氏名(略) | | |
| 3時限 | ■ S6263 共通演習 101547の氏名(略) 他 | | ■ [再度修] [有料履修] S0518 英語(四) 301067の氏名(略) | | | |

既存の登録科目名をクリックすると、削除画面へ遷移します。

※必修科目などの自動登録科目を削除する場合、注意メッセージ等が表示されます。

(5) 登録内容が反映された状態で履修登録画面が表示されます。

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

集中講義選択 他所属講義選択 開講科目検索

| 2016年 前学期 | | 2016年 後学期 | | | | |
|-----------|---|---|--|--|-----|--|
| 時限 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | |
| 1時限 | ■ 他 S6517 花卉栽培論 201607の氏名(略) | | | ■ 01356 情報基礎(二) 食 新力 201603の氏名(略) | | |
| 2時限 | | ■ S8179 生物物理化学【旧 方】 201603の氏名(略) | | ■ 01356 情報基礎(二) 食 新力 201603の氏名(略) | | |
| 3時限 | ■ S6263 共通演習 101547の氏名(略) 他 | | ■ [再度修] [有料履修] S0518 英語(四) 301067の氏名(略) | | | |
| 4時限 | ■ [再度修] [有料履修] 01144 英語(二) 生 A 新力 201615の氏名(略) | | | | | |
| 5時限 | | | | | | |
| 6時限 | | | | | | |

集中講義

| 学期 | 開講番号 | 開講科目名 | 担当教員 |
|-----|-------|---------------------|-------|
| 後集中 | S8093 | インターナショナル・スタディーズ(二) | 村西 雄二 |

| | | 前学期 | 後学期 | 年間 | 累積 |
|----|------|-----|-----|----|-----------|
| 上限 | 履修単位 | 25 | 25 | 40 | - |
| 下限 | - | 5 | - | - | - |
| 上限 | 他所属 | - | 0 | 2 | 2 10 6(4) |

※他の所属、他大学、他学部、他学科

[入力内容を確認する]

前述(3)～(4)の手順を繰り返し、登録したい開講科目をすべて選択し終えたら、[入力内容を確認する]をクリックします。

※この時点では、まだ履修登録は完了していません。

※履修単位の上限については、カリキュラム・学科によって異なります。

(6) 履修登録内容確認画面が表示されます。

| 選択科目 | | 登録内容確認 | | | | | 登録完了 |
|--|---|--------------------------------------|-----|---|---|-----|--|
| <input type="button" value="入力画面へ戻る"/> | | | | | | | |
| 履修内容を確認してください。 | | | | | | | <input type="button" value="進級卒業見込判定結果を表示する"/> |
| 2016年 前学期 | 2016年 後学期 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | |
| 1時限 | 他 S8517 花卉栽培論 70303の氏名(姓) | | | | 01356 情報基礎(二) 実 新 力) 201603の氏名(姓) | | |
| 2時限 | | S8176 生物物理化学【旧 力】 201603の氏名(姓) | | | 01356 情報基礎(二) 実 新 力) 201603の氏名(姓) | | |
| 3時限 | S8203 共通演習 10147の氏名(姓) 他 | | | <input checked="" type="checkbox"/> 再履修 <input type="checkbox"/> 有料履修 S8519 英語(四) 201603の氏名(姓) | | | |
| 4時限 | <input checked="" type="checkbox"/> 再履修 <input type="checkbox"/> 有料履修 01144 英語(二) 生 A 新カリ 201603の氏名(姓) | | | | | | |
| 5時限 | | | | | | | |
| 6時限 | | | | | | | |
| 7時限 | | | | | | | |
| 集中講義 | | | | | | | |
| 学期 | 開講番号 | 開講科目名 | | | 担当教員 | | |
| 後集中 | S8093 | インターナショナル・スタディーズ(二) | | | 村西 雄二 | | |
| | | 前学期 | 後学期 | 年間 | 累積 | | |
| 上限 | 履修単位 | 25 | 25 | 40 | - | - | |
| 下限 | | - | - | - | - | - | |
| 上限 | 他所講 | - | 0 | 2 | 2 | 10 | 6(4) |
| ※他の選択科目、他部門、他学年 | | | | | | | |
| <input type="button" value="この内容を登録する"/> | | | | | | | |

内容を確認のうえ、問題なければ
[この内容を登録する]をクリックします。

(7) 履修登録完了画面が表示されます。

| 選択科目 | | 登録内容確認 | | | | | 登録完了 |
|--|---|--------------------------------------|-----|---|---|-----|--|
| <input type="button" value="入力画面へ戻る"/> | | | | | | | <input type="button" value="印刷する"/> |
| 以下的内容を登録しました。 | | | | | | | <input type="button" value="プリビューで確認して下さい"/> |
| 2016年 前学期 | 2016年 後学期 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | |
| 1時限 | 他 S8517 花卉栽培論 70303の氏名(姓) | | | | 01356 情報基礎(二) 実 新 力) 201603の氏名(姓) | | |
| 2時限 | | S8176 生物物理化学【旧 力】 201603の氏名(姓) | | | 01356 情報基礎(二) 実 新 力) 201603の氏名(姓) | | |
| 3時限 | S8203 共通演習 10147の氏名(姓) 他 | | | <input checked="" type="checkbox"/> 再履修 <input type="checkbox"/> 有料履修 S8519 英語(四) 201603の氏名(姓) | | | |
| 4時限 | <input checked="" type="checkbox"/> 再履修 <input type="checkbox"/> 有料履修 01144 英語(二) 生 A 新カリ 201603の氏名(姓) | | | | | | |
| 5時限 | | | | | | | |
| 6時限 | | | | | | | |
| 7時限 | | | | | | | |
| 集中講義 | | | | | | | |
| 学期 | 開講番号 | 開講科目名 | | | 担当教員 | | |
| 後集中 | S8093 | インターナショナル・スタディーズ(二) | | | 村西 雄二 | | |
| | | 前学期 | 後学期 | 年間 | 累積 | | |
| 上限 | 履修単位 | 25 | 25 | 40 | - | - | |
| 下限 | | - | - | - | - | - | |
| 上限 | 他所講 | - | 0 | 2 | 2 | 10 | 6(4) |
| ※他の選択科目、他部門、他学年 | | | | | | | |
| <input type="button" value="登録番号: 103"/> | | | | | | | |

※この時点で 履修登録が完了となります。

履修登録が完了すると、登録番号が表示されます。

履修登録完了画面では、右上の[印刷する]ボタンをクリックすることで、ブラウザの印刷画面が表示されます。

履修登録完了後の控えとして、履修に関する問い合わせの際「根拠資料」になりますので右下の登録番号を控えてください。

問い合わせには、「登録番号」が必要です。

※履修単位の上限については、
カリキュラム・学科によって異なります。

(8) 履修登録ができない場合は・・・

- ① 「本人現住所の確認」等が未完了の場合、エラーメッセージが表示されます。



履修登録を行うためには、「本人現住所の確認」等をしてください。

- ② メニュー画面から「住所の変更/確認」をクリックします。タブおよびサイドメニューから選択できます。



10 履修確認について

- (1) 学生ポータルサイトで履修登録状況を確認すること。確認日程等は5ページを参照のこと。
- (2) **履修登録の内容に修正がある場合は、必ず履修修正期間に学生ポータルサイトで修正すること。**
- (3) 履修登録は履修番号に基づき行っている。履修番号を誤って登録すると、エラーが表示されるか、全く別の授業科目が登録されるので、登録されている授業科目名・クラス・担当者を確認すること。

11 履修確定について

- (1) 学生ポータルサイトで履修登録状況を確認すること。日程等は学生ポータルで掲示する。
- (2) 履修登録(修正・変更を含む)期間では、自分の登録画面(11 履修登録の入力方法(7)の画面)を必ずプリントアウトし、いつでも確認できるようにすること。
- (3) 用語の説明
 - ①正規履修 → 所属する学部・学科で開講している科目を初めて履修登録する場合の登録種別。在学年次授業科目の場合は、指定したクラス分に従い履修登録すること。低学年次の授業科目の場合は、クラスを選んで履修登録すること。
 - ②再履修 → 一度履修した授業科目のうち、不合格(不可または未評価)になった授業科目を再度履修する場合の登録種別。
 - ③他学科履修 → 所属する学科以外の学科で開講している科目を履修する場合の登録種別(教職課程科目を除く)。なお、一度履修し、不合格のため再度履修する場合は、他学科履修登録単位数にも加算する。
 - ④他学部履修 → 所属する学部以外の学科で開講している科目を履修する場合の登録種別(教職課程科目を除く)。なお、一度履修し、不合格のため再度履修する場合は、他学部履修登録単位数にも加算する。

12 授業について

本学では授業に関するさまざまな情報を学生ポータルサイトにて開示している。授業を受講するにあたっては、次の事項について把握すること。

(1) 授業の内容を知るには…

Webシラバスを活用すること。Webシラバスには教育目的・各回の内容・受講上の注意事項などが記載してある。

(2) 授業の開講に関する情報は…

- ◇ 授業が休講になる場合は、休講掲示及び学生ポータルサイトの「休講情報」にて伝達する。
- ◇ スマートフォンからも確認することができる。
http://kyuko2.nodai.ac.jp/portalv3_p/kyuko.do
- ◇ 休講となった授業の補講については、授業中における担当教員からの指示または学生ポータルサイトにおいて周知するので確認すること。
- ◇ 授業の教室を変更する(した)場合は、学生ポータルサイトに掲載する。

(3) 先生方に質問や相談をしたい…

授業に関する質問や相談は授業中に行うのが原則であるが、次の方法で行うことも可能。

- ◇ オフィスアワーを確認して研究室などを訪ねる。
オフィスアワーとは、教員が学生の相談を受け付ける時間を設定すること。各教員のオフィスアワーは学生ポータルで確認することができる。

(4) より良い授業にするために…

本学では、学生に対して質の高い授業を保証するために、前学期と後学期に「学生による授業評価および学修時間アンケート」を実施している。なお、実施の方法については、学期毎に学生ポータルサイトに掲示する。

(5) 授業のことで困ったら…

- ◇ 授業に対して意見がある場合は、第二講義棟 1 階ラウンジに置いてある「大学への意見」という用紙を用いて提出することができる。これは日ごろ授業を受けていて感じること、改善してほしいと願っていることを発言するためのものである。
- ◇ 履修登録および評価に関する質問・相談等は、学生教務課窓口で受け付ける。
※電話・メールでは受け付けていないので注意すること。
- ◇ 大学への要望・提案および授業・研究室、学生生活上の悩み等は、メールで受け付ける。
※情報管理は十分配慮する。所属学科名と学籍番号を必ず記載すること。

取扱い責任者： 東京農業大学 副学長 E-mail g-center@nodai.ac.jp

13 試験について

授業科目の履修状況を評価し、単位を認定するために試験を行う。授業科目によっては、レポートに代える場合がある。授業に出席し授業担当者の指示にしたがうこと。

(1) 受験資格

- ① 当該授業科目を履修登録していること。
 - ② 当該授業担当者の定める出席日数を満たしていること(原則として授業日数の2/3以上の出席が必要)。
 - ③ 当該学期までの学費、その他の納付金を納入していること。
- ※ 休学期間に試験を受けることはできない。

(2) 定期試験

一定の期間内に時間割を決めて各学期に実施する試験である。定期試験を実施する授業科目及びその時間割は、試験開始1週間前に掲示板・学生ポータルサイトに発表する(実験・実習・演習科目は、原則として「定期試験」を実施しない)。

なお、定期試験またはそれに代わる試験を病気その他やむを得ない事由により欠席した場合は、指定された期日(試験時間割発表時に掲示)までに欠席の事由(当日の状況など)を証明する書類を持参し、試験欠席の手続きを行うこと。この届出により、追試験の受験を認める。**※欠席事由と添付提出書類は次のとおり。**

| 欠席事由 | 提出書類 |
|-----------------|---|
| 病気 | 医師の診断書(試験当日の健康状態を記載のものに限る) または病院の領収書(日付及び氏名が記載されたもの) |
| 交通機関の遅延 | 交通機関発行の遅延証明書 |
| 忌引(三親等までの親族の死亡) | 死亡に関する書類(会葬通知等) |
| 就職試験等 | 就職活動証明書(キャリア課で証明を受けること) ※事由によっては証明が受けられない場合がある。必ず試験前、早めに窓口で確認すること。なお、企業説明会は認められていないので注意。 |
| 災害(水害・火災等) | 官公庁による被災証明書 |

(3) 定期試験に関する注意事項

- 試験時間は45分間。通常の授業時間とは異なるので注意すること。
- 学生証を所持していない学生は受験できない。なお、当日忘れた場合は、学生教務課にて仮学生証の発行を受けること(有料500円・当日限り有効)。
- 受験科目が重複した場合は、事前に申し出ること。
- 試験場への入場は、試験開始後20分までとする(試験開始後は退場できない)。
- 試験場または受験科目・授業担当者の間違い、もしくは無記名答案は受験しても無効となる。
- 答案は白紙であっても必ず提出すること。
- 不正行為が発覚した場合は、当該学期の評価をすべて無効(未評価)とする。
- 試験場においては、すべて監督者の指示に従うこと。
- その他試験に関しては関係窓口へ問い合わせること。

【試験時間】

| 授業時限 | 試験時限 | 試験時間 |
|------|------|-------------|
| 1 時限 | 1 時限 | 9:00～9:45 |
| | 2 時限 | 10:00～10:45 |
| 2 時限 | 3 時限 | 11:00～11:45 |
| | 4 時限 | 12:00～12:45 |
| 3 時限 | 5 時限 | 13:00～13:45 |
| | 6 時限 | 14:00～14:45 |

| 授業時限 | 試験時限 | 試験時間 |
|--------|-------|-------------|
| 4 時限 | 7 時限 | 15:00～15:45 |
| | 8 時限 | 16:00～16:45 |
| 5 時限 | 9 時限 | 17:00～17:45 |
| 5・6 時限 | 10 時限 | 18:00～18:45 |
| 6 時限 | 11 時限 | 19:00～19:45 |

(4) 追試験

定期試験またはそれに代わる試験をやむを得ない事由(※「(2)定期試験」を参照のこと。)により、受験できなかつた場合に、その根拠書類とともに所定期間内に申請し、追試験期間中に試験を受けるもの。追試験の実施方法は、試験開始1週間前に学生ポータルサイトまたは掲示板にて掲示するので確認すること。

※ 追試験を欠席した場合の再度の試験は行わない。

14 成績相談について

各学期に履修した授業科目の評価（成績）については、学生ポータルサイト上で確認すること。この成績に関して質問がある場合は、成績開示後の成績質問日（各学期に3日間程度を設定）に、授業担当者に直接指導を受けること。

なお、この相談は、評価の変更を目的として行うものではなく、今後の学習を進めるうえでどのような点に留意する必要があるのか、どのような点が理解できなかったのかを確認するために行うものである。

質問の方法、書式等の詳細については学生教務課に確認すること。

15 成績評価とGPAについて

(1) 成績評価

「秀」・「優」・「良」・「可」が合格で、「不可」・「未評価」は不合格。成績評価の基準は、次のとおり。

【成績評価基準のガイドライン】

| 判定 | 成績 | 表示 | 成績評価基準 | GP | 成績評価内容 |
|-----|-----|----|---------|-----|-------------------|
| 合格 | 秀 | S | 100~90点 | 4.0 | 特に優れた成績(履修者の5%以内) |
| | 優 | A | 89~80点 | 3.0 | 優れた成績 |
| | 良 | B | 79~70点 | 2.0 | 妥当と認められる成績 |
| | 可 | C | 69~60点 | 1.0 | 合格と認められる成績 |
| 不合格 | 不可 | D | 59点以下 | 0 | 合格と認められる成績に達していない |
| | 未評価 | F | — | 0 | 評価に値しない |

※ 成績評価基準は、全体の得点を鑑みて、評価を調整することがあります。

(2) GPAについて

自らの学業成績の状況を的確に把握して、適切な履修計画とそれに基づく学習に役立てるため、GPAを算出している。

① GPA対象科目

GPAの対象科目は、①「卒業要件に算入できる科目」であって、かつ②「5段階評価によって成績を認定する科目」とし、③「学生が履修登録した科目」とする。

したがって、他学科・他学部聴講科目などは含め、リメディアル教育科目、教職・学術情報課程及び認定科目は除く。

② GPAの算出方法

【a. 学期ごとのGPAの算出方法】

学期ごとのGPA算出は、次の式による。

$$\frac{\text{(当該学期で履修登録したGPA対象科目のGP} \times \text{その科目の単位数})\text{の合計}}{\text{当該学期で履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

- 注 1) GPA対象科目で不可(D)及び未評価(F)科目は、分母に含む。
注 2) 通年科目は後学期に含めGPAを算出する。
注 3) 「不可」・「未評価」となった科目を再履修した場合は、再履修した当該学期の対象科目に含め、GPAを算出する。
注 4) 前項の場合、「不可」・「未評価」となった学期のGPAは変更しない。

【b. 通算GPAの算出方法】

通算GPAは、在学中に履修登録したすべてのGPA対象科目に基づき、その算出は次の式による。

$$\frac{\text{(在学中に履修登録したGPA対象科目の最新GP} \times \text{その科目の単位数})\text{の合計}}{\text{在学中に履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

- 注 1) 通算GPAは毎学期末に算出する。
注 2) 再履修した場合は1科目としてカウントする(ダブルカウントしない)。
注 3) 再履修した科目のGPは、最新の評価に基づく値で算出する。

16 時間割を参照するうえでの留意事項

(1) 学期表示

- ① 同一时限に開講する科目は横並びに表示している。
② 集中授業科目は開講学期に従い表示している。

(2) 科目の種類(区分欄に表示)

必………必修科目 選必………選択必修科目 空欄………選択科目

(3) クラス分け表示

- ① クラス分けのある科目は、クラス分け表に基づき自分の所属するクラスを確認すること。
② 大学の総合教育科目時間割に大文字のA・B・C…でクラス分け表示がある場合は、オープン科目であるので、各自の時間割に合わせて選択し、受講すること。
③ クラス分けのない科目は、クラス表示をしない。

(4) 隔週表示

区分欄の前に「隔週」と表示した科目は、1週おきに単独または2科目交互に実施する科目である。実施については掲示及び学科の指示に従うこと。

(5) 集中授業科目について

時間割に日程・時間・教室の記載がない科目については、後日学生ポータルサイト・掲示板に掲出する。

(6) 担当者表示

担当者が複数の科目は備考欄に全担当者の名前を列記していることがある。

(7) 教室表示

- ① 教室欄に 2 室以上配当している科目は、いずれの教室で実施するかを担当教員または開講学科の掲示板で確認すること。
- ② 実験・実習・演習室は略称表示をしているので、「実験・実習・演習室略号一覧」(※時間割先頭ページに記載)で確認すること。
 - ① 教室の場所がわからない場合は、学生教務課で確認すること。

(8) 開講时限・教室等の変更

時間割・教室等は、変更になることがあるので、必ず学生ポータルサイトを確認すること。

(9) 教職課程科目の時間割

- ① 学科欄に学科名の短縮表示のある科目は、学科指定の科目である。当該学科・学年の学生は必ず指定の时限で履修すること。
※ 再履修者はこの限りではない。各自の时间割にあわせて選択し、受講すること。
- ② クラス欄にアルファベット表示のある科目はオープン科目である。各自の时间割にあわせて選択し、受講すること。

(10) 履修番号欄の「**」は、次の場合に表示している**

- ① 当該时限の前の科目を引き続き開講する場合
- ② 後学期において通年科目を表示する場合